



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

令和3年度 学校経営・運営ビジョン 3 ～次年度に向けて検討中～

No.98で「目指す子どもの姿」を提示しましたが、今回はそれに続く第3弾になります。次年度、特に学校で力を入れて取り組む「重点実践事項」です。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 【重点実践事項】 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

本校の子ども達の実態、社会情勢、教育界の目指すところ等を考慮し、特に「ここに力を注いでいこう」というのが重点実践事項になります。「知・徳・体」の3つの領域からそれぞれ洗い出しました。

【知】

- 主体的・対話的で深い学び
 - ・効果的な学び合いの場の設定
 - ・ICTの活用
- 学びのルールの徹底
 - ・「学びの作法」の活用
- ふるさと学習の充実
 - ・地域人材等の活用



変化の激しい時代を生き抜くためにはどうしても子どもたち自身の「主体性」を育まなければなりません。ICTの積極的活用は、世界的な流れです。

また、ふるさと教育の推進に向けて、地域との人・もの・ことを積極的に活用します。

【徳】

- 自己肯定感の醸成
 - ・よさ、活動のふり返りと見える化
 - ・自己評価、他者評価の継続実施
- 自己表出の機会の重視
 - ・あいさつの推進
 - ・気持ちや思いを自分の言葉で表現
 - ・目標に向かった主体的な活動の実現
- 道徳教育の充実
 - ・思考ツール、議論ツールの活用
 - ・家庭と連携した道徳ノート

子どもたちの主体的活動のベースは「自己肯定感」「自分への自信」になります。そして、自分の意見をしっかりと見え、行動できるようなる手助けをしていきます。

また、心を育てる道徳を大切にしていきたいと思います。



【体】

- 健康的な生活習慣の育成
 - ・早寝、早起き、朝ご飯、朝排便の習慣作り
- 体力の向上
 - ・運動身体づくりプログラムの活用
 - ・正しい姿勢の習慣作り
- 感染症予防の徹底
 - ・コロナ対応の完全実施
 - ・各種行事の実施方法の見直し



コロナの対応は命を守る上で必須事項。徹底します。その上で、2極化傾向が見られる体力の向上、健康的な毎日を送るための習慣作りに取り組みます。

この実践事項に対しては、保護者の皆さんの協力が不可欠です。特に、「ふるさと教育の推進」「自己肯定感の醸成」「道徳教育の充実」「健康的な生活習慣の育成」等は家庭の力、地域の力が必要になります。どうぞ、よろしくお願ひします。さらには、例年行っている学校評価保護者アンケートの項目にもなってきますので、日頃より、注視していただければと思います。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線